

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（ 月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①学習指導要領の目標に照らしたより良い教育課程を編成する。 ②「自ら未来を切り拓く人材」の育成に向けた継続的で一貫した意識付け・動機付けを実践する。	①単位制の特色を活かした教育課程を改善し、より充実した履修指導を行う。 ②1人1台端末やICT機器の活用により、生徒の論理的思考力やデータ活用のスキルの育成を図る。	①生徒の希望進路実現のため、多岐にわたる選択肢から適切な履修計画を立てさせる。 ②研修、研究授業の充実を図り、全ての教科でプログラミング教育の推進に取り組む。	①履修計画作成にあたり、適切な履修指導が行われたか。 ②十分な研修、研究授業は行われたか。生徒にプログラミング的思考やデータ活用のスキルを身に付けさせることができたか。					
2	生徒指導・支援	①様々な生徒の状況を把握し、個々に対応した支援体制を構築する。 ②学校行事等を通じて生徒が主体的に取り組む態度を育む。	①支援を必要とする生徒を把握し、必要な支援と校内での情報共有を密にする。 ②行事内容を検討し、生徒が考える形に沿い主体的に取り組めるよう支援をする。	①年次会等を通じて支援を要する生徒を把握し、具体的施策を検討する会議を開催する。 ②実行委員会等を通じて生徒の意見を聞き、行事に反映させる。	①SC・SSWを含め職員間で支援が必要な生徒を把握し、情報共有と支援ができたか。 ②実行委員会等を通じて生徒の意見を吸い上げ、計画・実行できたか。					
3	進路指導・支援	○自らの進路を主体的に切り開いていくため個に応じたキャリア観を育成し、進路指導の充実を図る。	○生徒個人に応じて3年間を見通した進路計画を策定し、進路実現を目指す。	○3年間の進路計画を提示し、適切な時期に進路実現を目指すための講演会やガイダンスを充実させる。	○3年間の進路計画に沿った方策が実現できたか。また、それが適切な時期や内容であったか。					
4	地域等との協働	○生徒の社会参画の意欲向上に努め、地域等との連携・協働による教育活動の充実を図る。	○学校行事等を通じて、生徒と保護者・地域住民との交流を深める。	○学校行事等で地域の方と連携を深め、事前学習を行って社会と関わることの大切さと、社会に貢献する態度を育成する。	○学校行事等を通じて、学校と地域住民との連携を深めることができたか。					
5	学校管理 学校運営	①教育環境を整備し、より快適な学校づくりを進める。 ②職員の働き方改革を実現する学校管理体制を追求する。	①生徒が安全安心に過ごせる快適な校内環境を整備する。 ②業務の効率化を進め、業務に専念しやすい環境を整える。	①老朽化した設備・備品を順次更新するために、状況を把握し対応を進める。 ②ICT機器の利活用やシステムの工夫を行い、業務の効率化を図る。	①校内環境に対する生徒や保護者の評価が高まったか。 ②事務作業の軽減が図られ、超過勤務時間が減少したか。					